

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 吉田 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

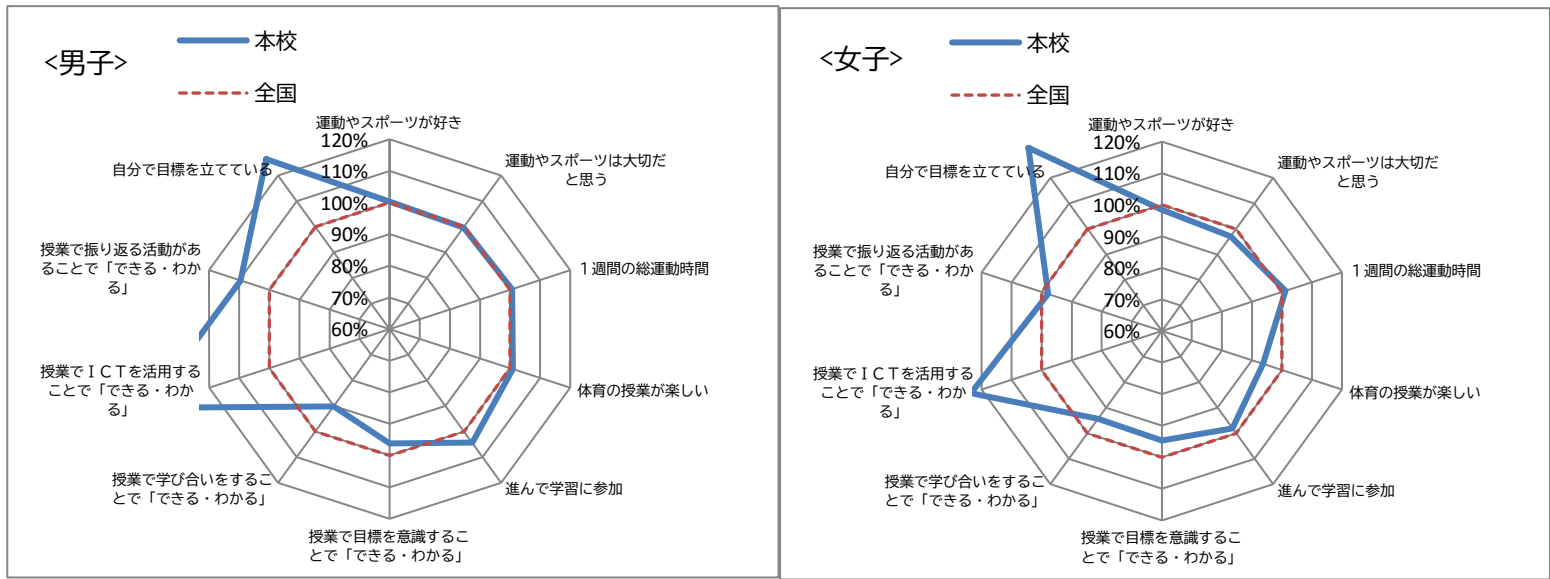
| 本年度の結果      | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国          | 16.01 | 19.19 | 33.79 | 40.66 | 46.90     | 9.50 | 150.42 | 20.75    | 52.53 |
| 本市          | 15.98 | 19.39 | 34.42 | 40.27 | 49.36     | 9.54 | 150.13 | 21.81    | 53.10 |
| 本校全国平均以上の種目 | ○     |       | ○     | ○     | ○         |      | ○      | ○        | ○     |

<女子>

| 本年度の結果      | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国          | 15.77 | 18.16 | 38.19 | 38.70 | 36.59     | 9.77 | 143.13 | 13.15    | 53.92 |
| 本市          | 15.88 | 18.39 | 38.51 | 38.13 | 38.67     | 9.79 | 142.58 | 13.44    | 54.32 |
| 本校全国平均以上の種目 | ○     |       |       |       |           | ○    | ○      | ○        |       |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- 男女共に「上体起こし」の平均値が、全国平均や本市の平均より低い数値になっている。
- アンケートでは、授業で学び合いをすることで「できる・わかる」の数値が全国の平均より低くなっている。
- 自分の目標を立てて、学習に取り組んでいる児童は全国平均より大幅に高い結果となった。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体育科の学習の時間に、毎回ストレッチ運動として上体おこしのための簡単な動き遊びやトレーニングを取り入れる。
- 体育科の学習では、ペアでフォームを見合ったり、グループで作戦を考えたりする活動を増やしていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 週に1回のランタイム(3~4分間走)・キッズダンスにより児童の体力を引き続き伸ばしていく。
- 昼休みの体育館開放により体を動かす機会を増やしていく。